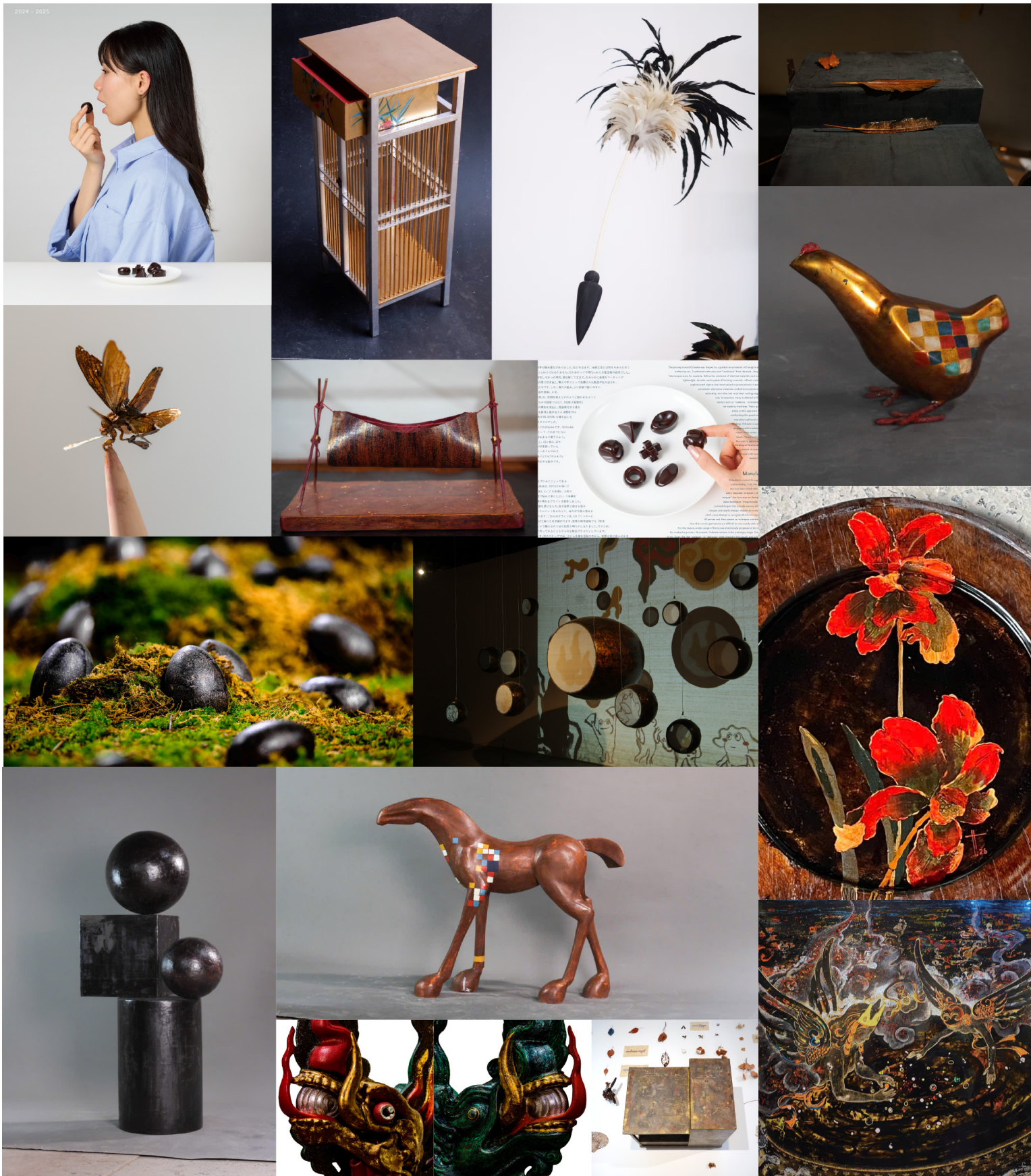




THE LACQUER ROAD PROJECT



漆がつなぐ、日本とベトナム

The lacquer that connects Japan and Vietnam



漆がつなぐ、日本とベトナム

The lacquer that connects Japan and Vietnam

「日越漆の路プロジェクト」は、同じ漆の木から育った二つの文化—ベトナムの伝統漆絵「ソンマイ」と、石川県輪島の「輪島塗」を結ぶ国際交流プログラムです。

2026年3月のハノイでの現地リサーチを起点に、7月、東京デザイン会社たきコーポレーションと、ハノイのアート&カルチャー・プラットフォームHanoi Grapevine が基本合意書を締結しました。

この9月、ベトナムを代表する漆芸作家3名が、124の工程を分業で受け継ぐ、日本を代表する漆器産地・輪島。

その作り手のもとを訪ねます。

そして11月、この地で得た着想から生まれる作品を、ハノイで発表します。

人と技法が両国を往復するこの流れを、私たちは「漆の路」と呼んでいます。

技を次の世代へどう受け渡すか—両国が共有するこの問いの答えは、作り手どうしが直接出会う対話のなかにあると考えています。

ARTISTS



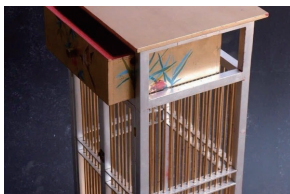
1966年生まれ | ハノイ

ĐINH CÔNG ĐẠT ディン・コン・ダット | 彫刻家・漆芸作家

使われなくなった日用品に漆を施し、新しい姿と機能を与える彫刻家。

羅漢の面やバツタなど、信仰と日常のモチーフをベトナムの伝統漆で立体にしてきた。

作品はベトナム国立美術館とシンガポール美術館に収蔵。



1997年生まれ | ハノイ

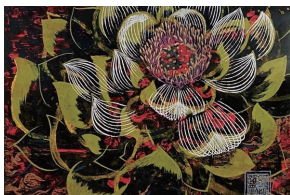
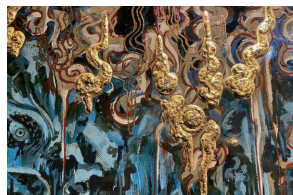
TRƯƠNG HOÀNG HẢI チュオン・ホアン・ハイ | 漆芸アーティスト・漆芸研究者

漆の技法を自ら研究し、漆紙や3Dプリント、樹脂、陶など現代の素材へ応用する。

漆の画材ブランド「Sơn mài HD」を立ち上げた。

2022年に漆のアーティストグループDe.lacを共同設立し、

2024年には文廟「浮世絵との対話」展に参加。



1991年生まれ | ハノイ

TRẦN THẢO MIÊN

チャン・タオ・ミエン | テキスタイル／インスタレーション・アーティスト

ファッション産業の廃材や葉脈に、透明な糸で刺繍を施すテキスタイル彫刻を手がける。

漆の技法は Đinh Công Đạtさんに学んだ。2026年に光州ビエンナーレへ出品し、同年に東京で個展を開催。

Vietnam Design Week 2020 最優秀賞。



PROJECT TIMELINE

2026.03

ハノイ現地調査

2026年3月、たきコーポレーションのメンバーがハノイを訪ねました。

アーティスト、美術大学、職人村、漆の研究者との対話が、このプロジェクトの出発点になりました。

2026.04 - 07

企画・MOU締結

2026年7月、たきコーポレーションと

Hanoi Grapevineが基本合意書を締結。

漆芸を通じた交流の枠組みを整え、プロジェクトが正式に始動しました。

2026.09

輪島訪問・対話ワークショップ

ベトナムの漆芸作家3名が輪島へ。

124の工程を分業で担う職人の工房を訪ね、震災からの復興が続く産地で、技法と考え方を交わします。

2026.11

ハノイクリエイティブフェスティバル2026 出展

輪島で得た着想から生まれた作品を、ハノイのデザインフェスティバルで発表します。

制作の過程もあわせて展示し、両国の来場者に開きます。

2027.06

日本のデザイン学会で発表

輪島で得た着想から生まれた作品を、ハノイのデザインフェスティバルで発表します。

制作の過程もあわせて展示し、両国の来場者に開きます。

Hanoi Grapevine(ハノイ・グレープヴァイン)とは

ハノイを拠点に、現代アートと文化に関する情報発信・キュレーション・ネットワークを手がけるプラットフォーム。本プロジェクトでは、ベトナム側の企画調整と、ハノイの漆芸コミュニティやアーティストとの連携を担う。